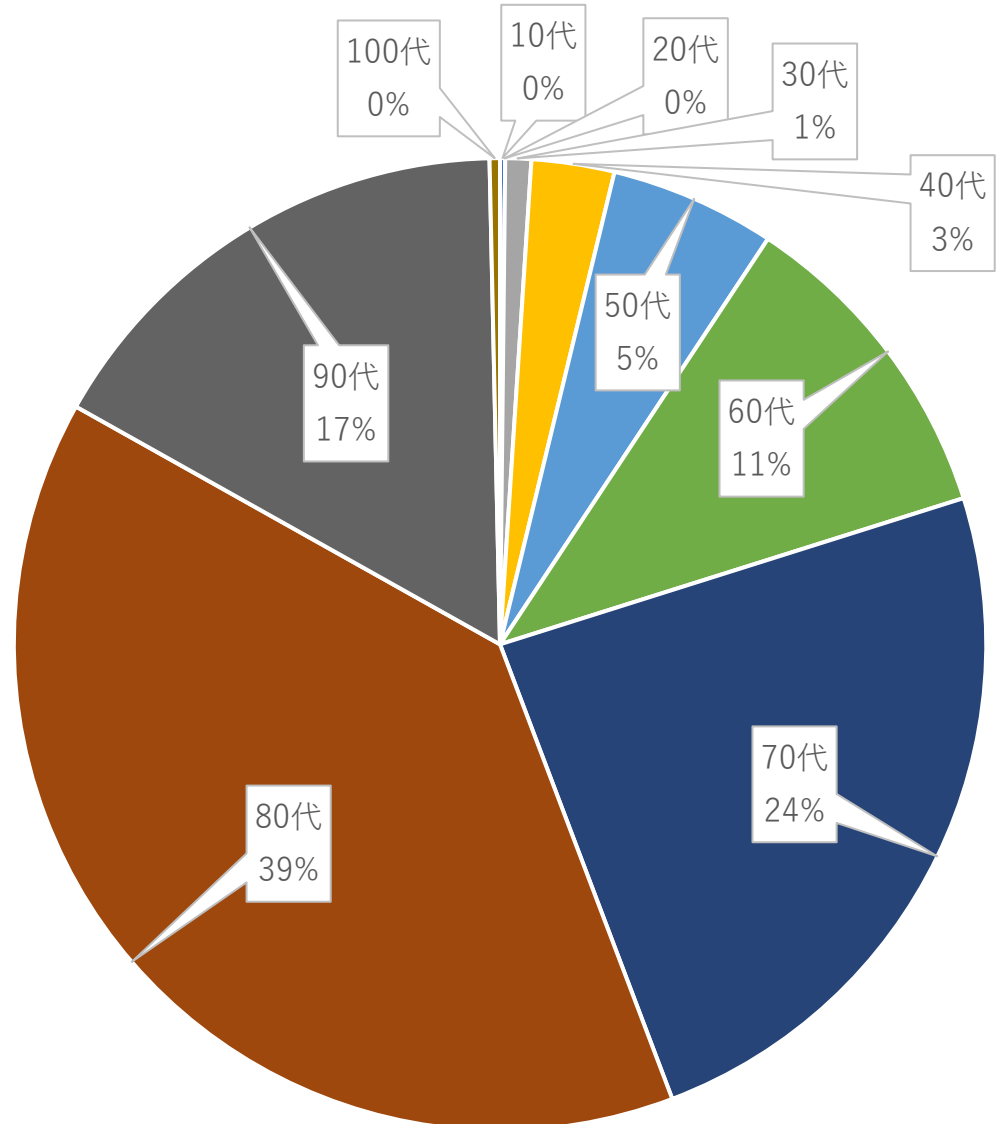


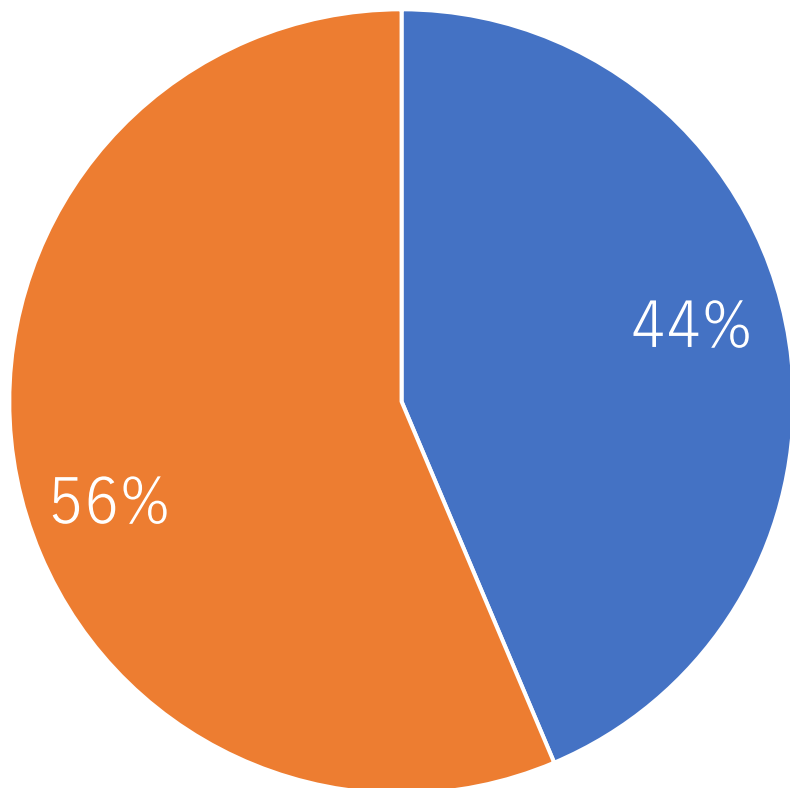
2022年度
回復期リハビリテーション病棟の指標

年代別入院患者



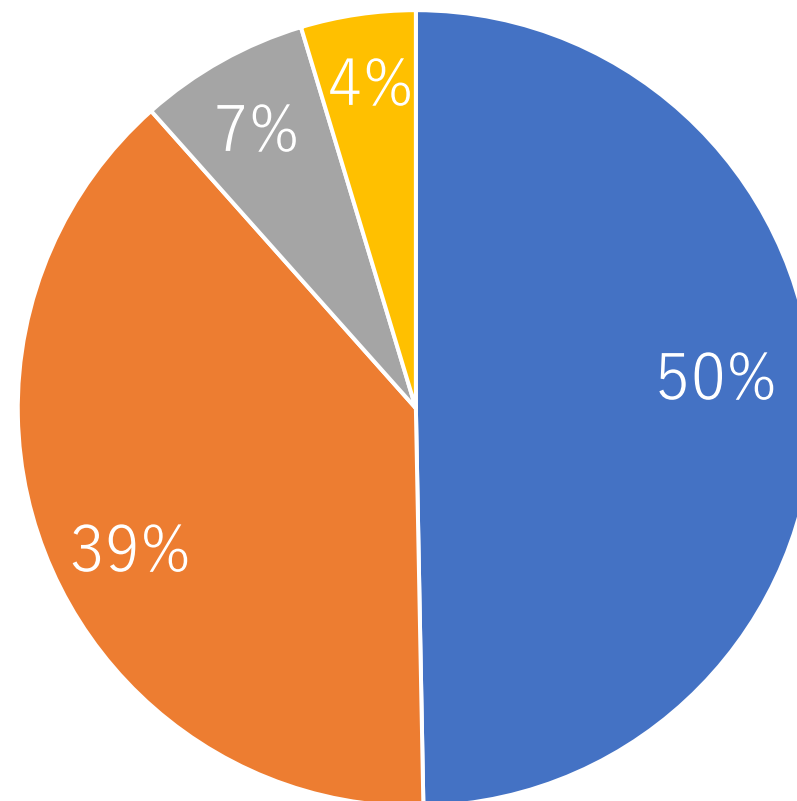
■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代 ■ 100代

入院患者の男女比



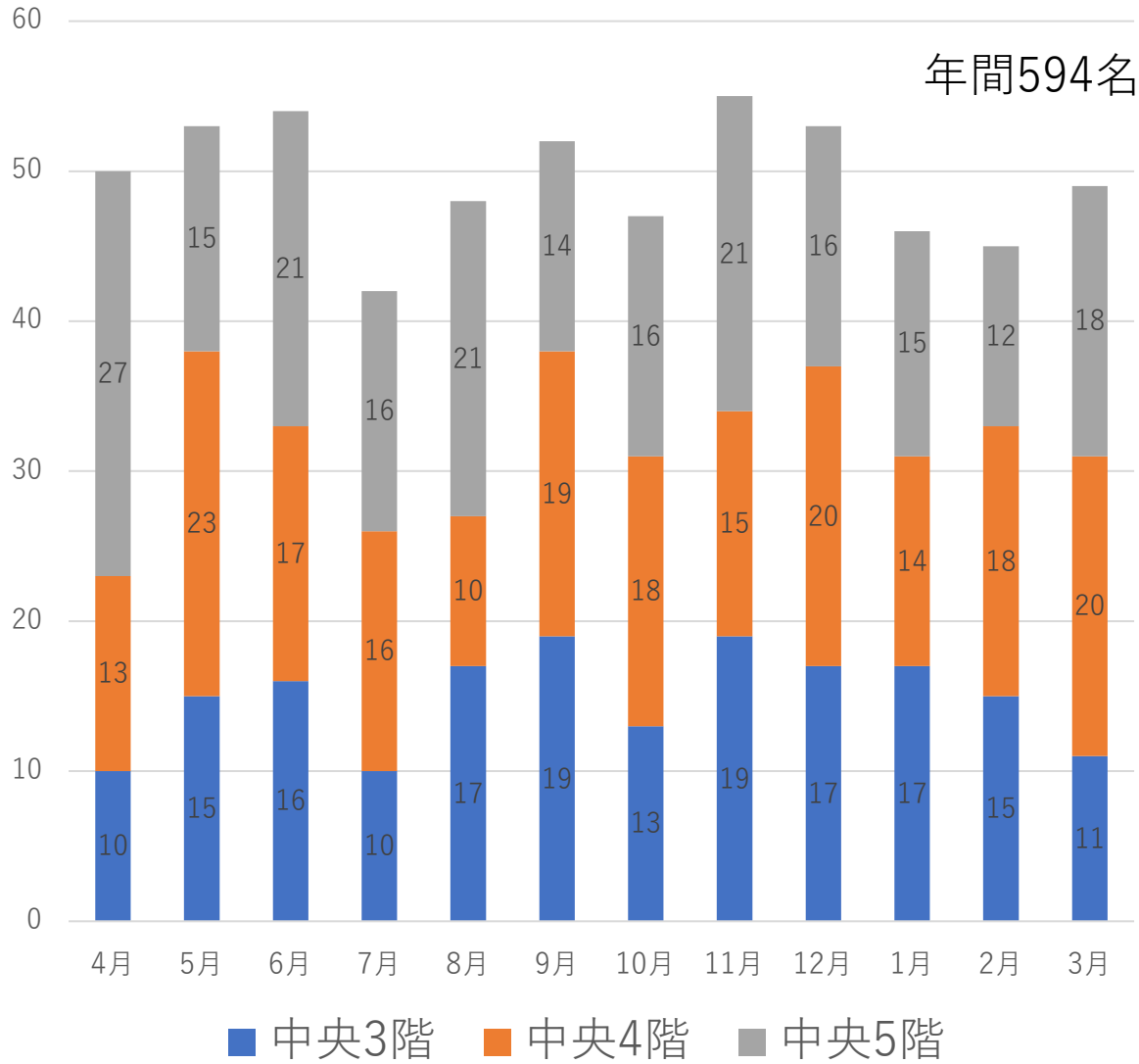
■ 男 ■ 女

入院疾患割合

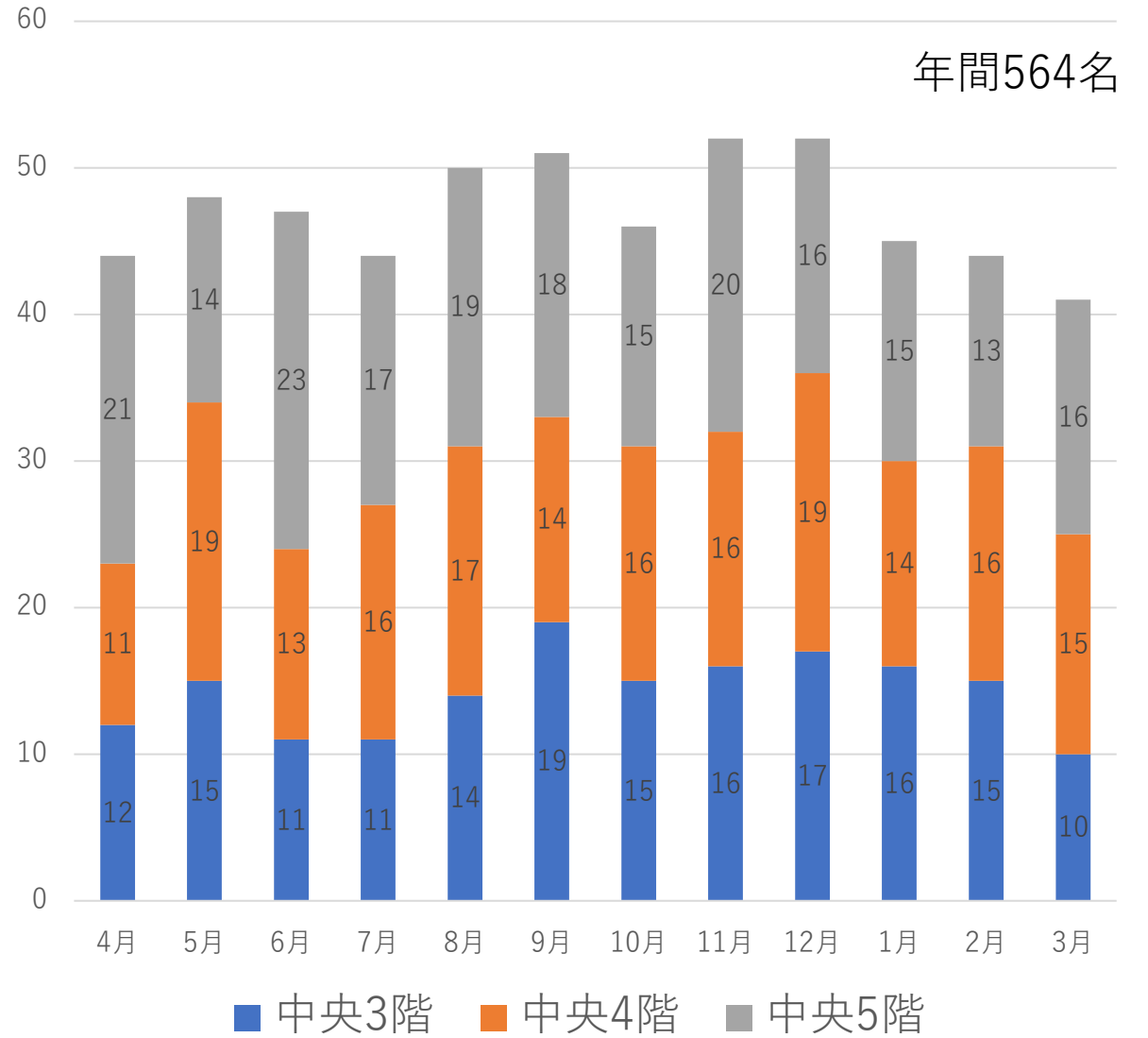


■ 脳血管 ■ 運動器 ■ 廃用 ■ 心大血管

入院患者数

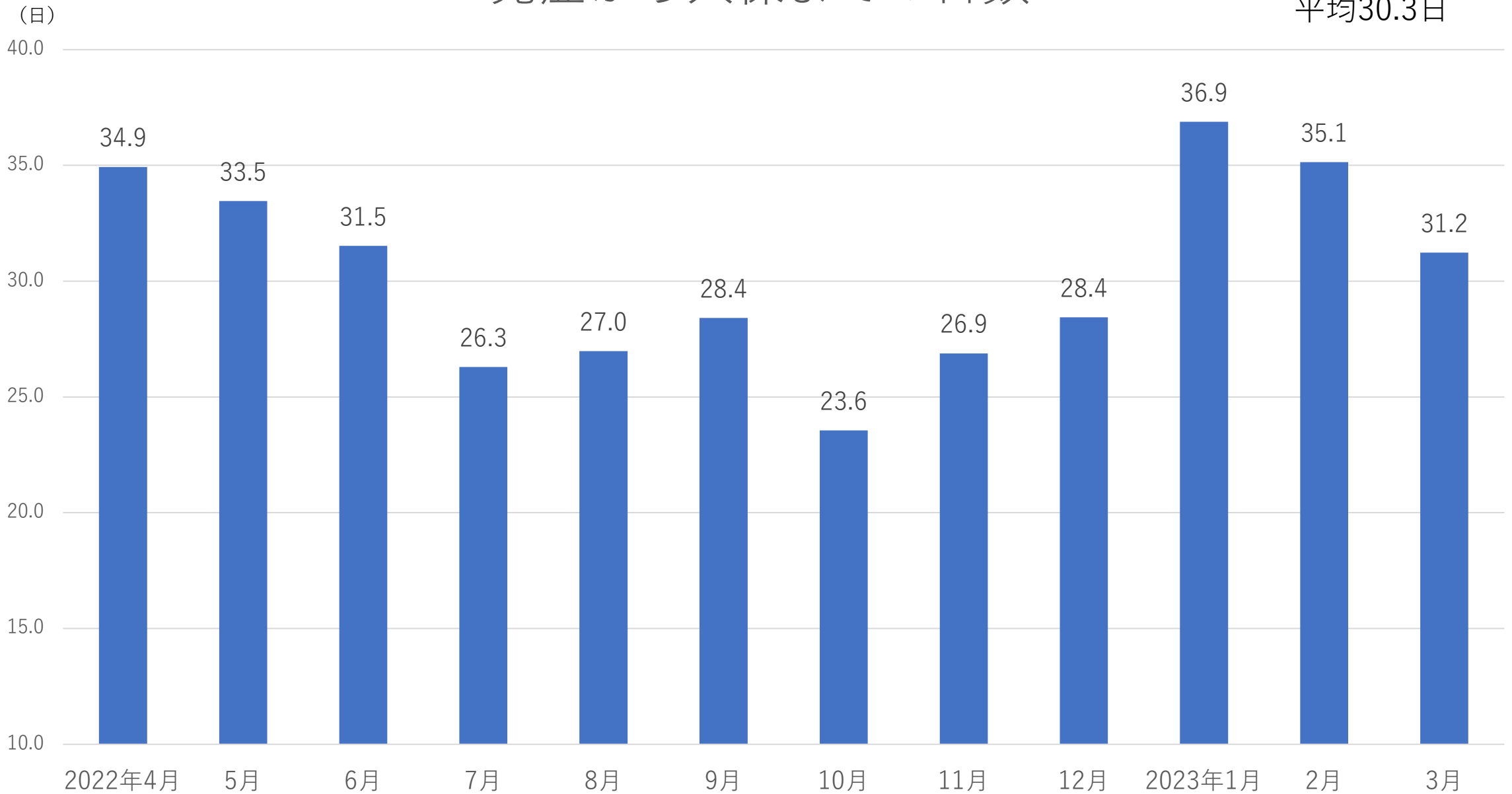


退院患者数



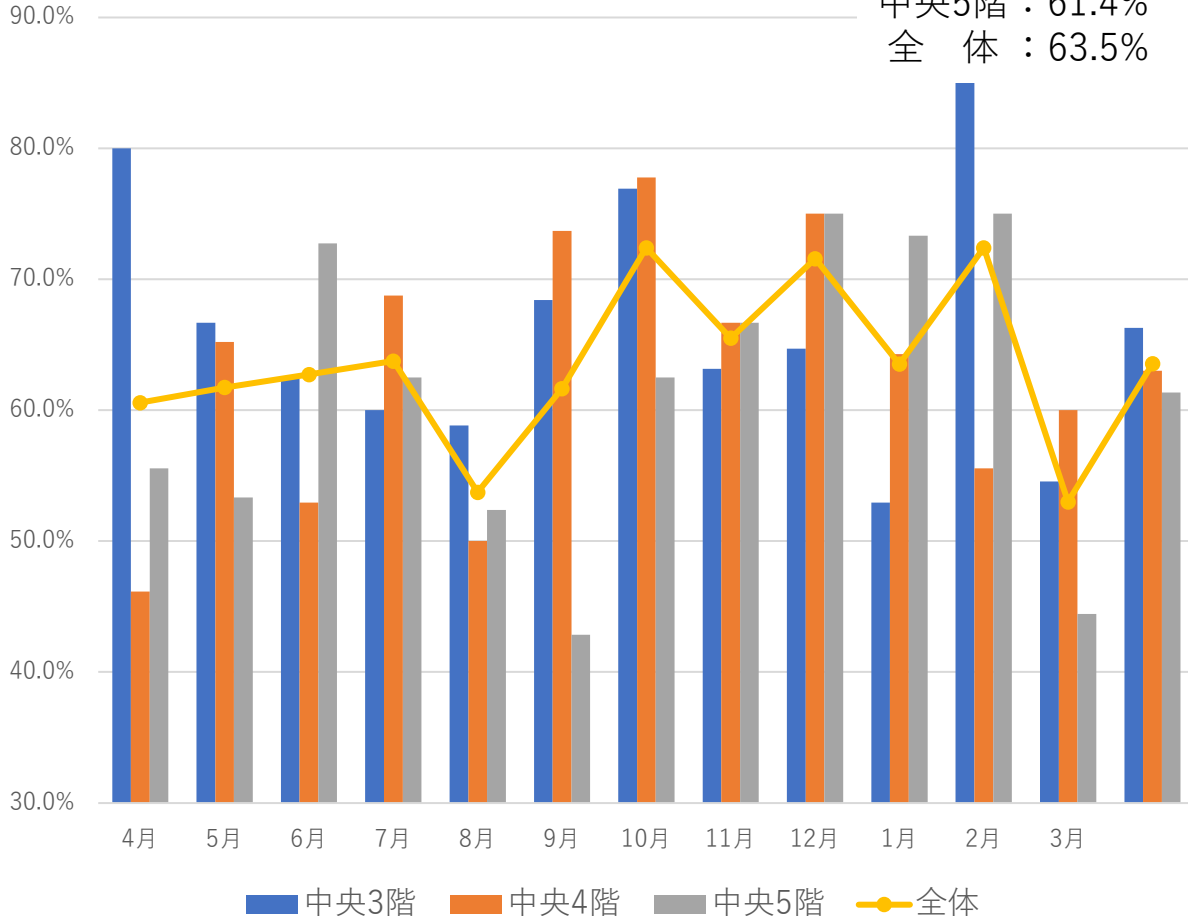
発症から入棟までの日数

平均30.3日



重症者の入院割合

年間平均
 中央3階：66.3%
 中央4階：63.0%
 中央5階：61.4%
 全体：63.5%

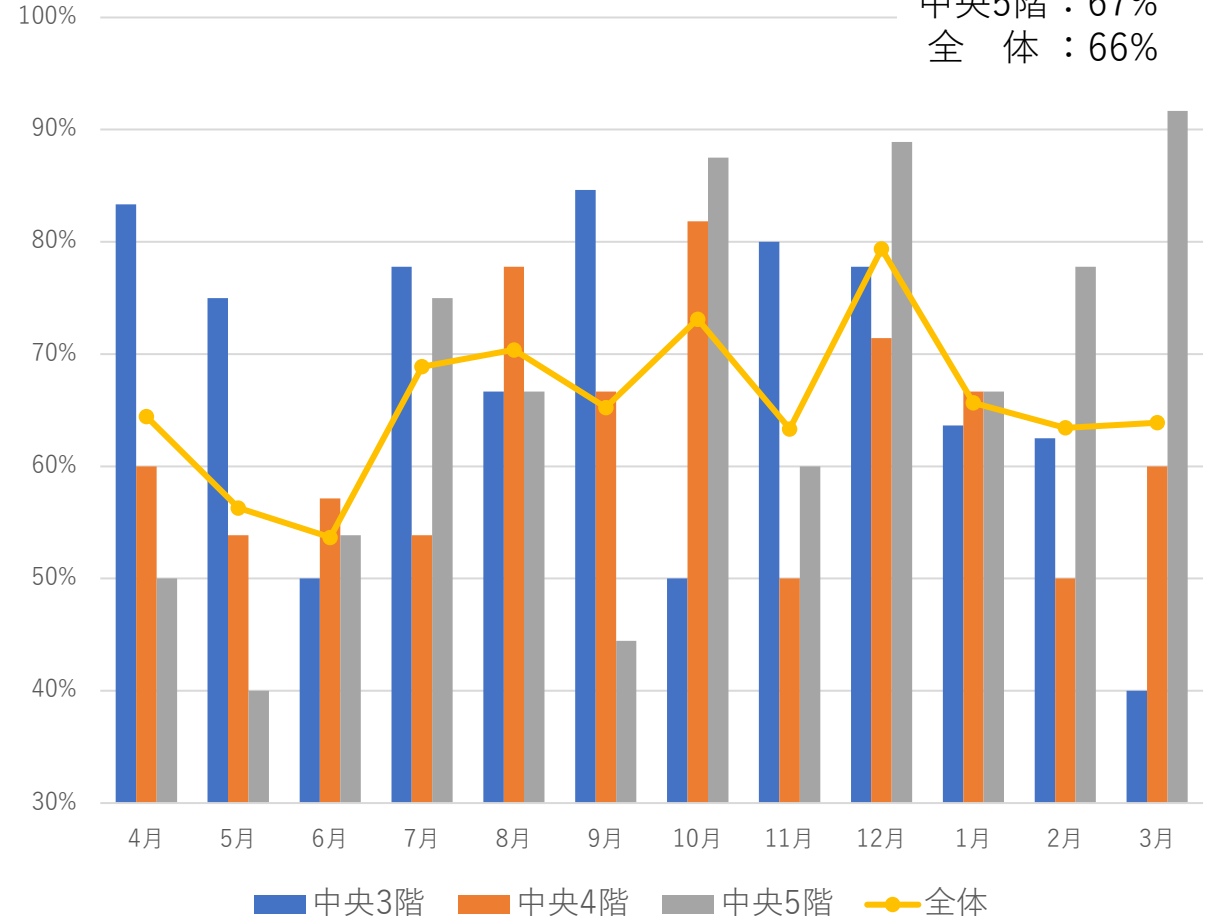


※重症者の入院割合

回復期入院料Ⅰでは新規入院患者の内、重症者（日常生活機能評価（B項目）で10点以上またはFIM55点以下）の患者の割合が40%以上必要とされている。

重症者の改善割合

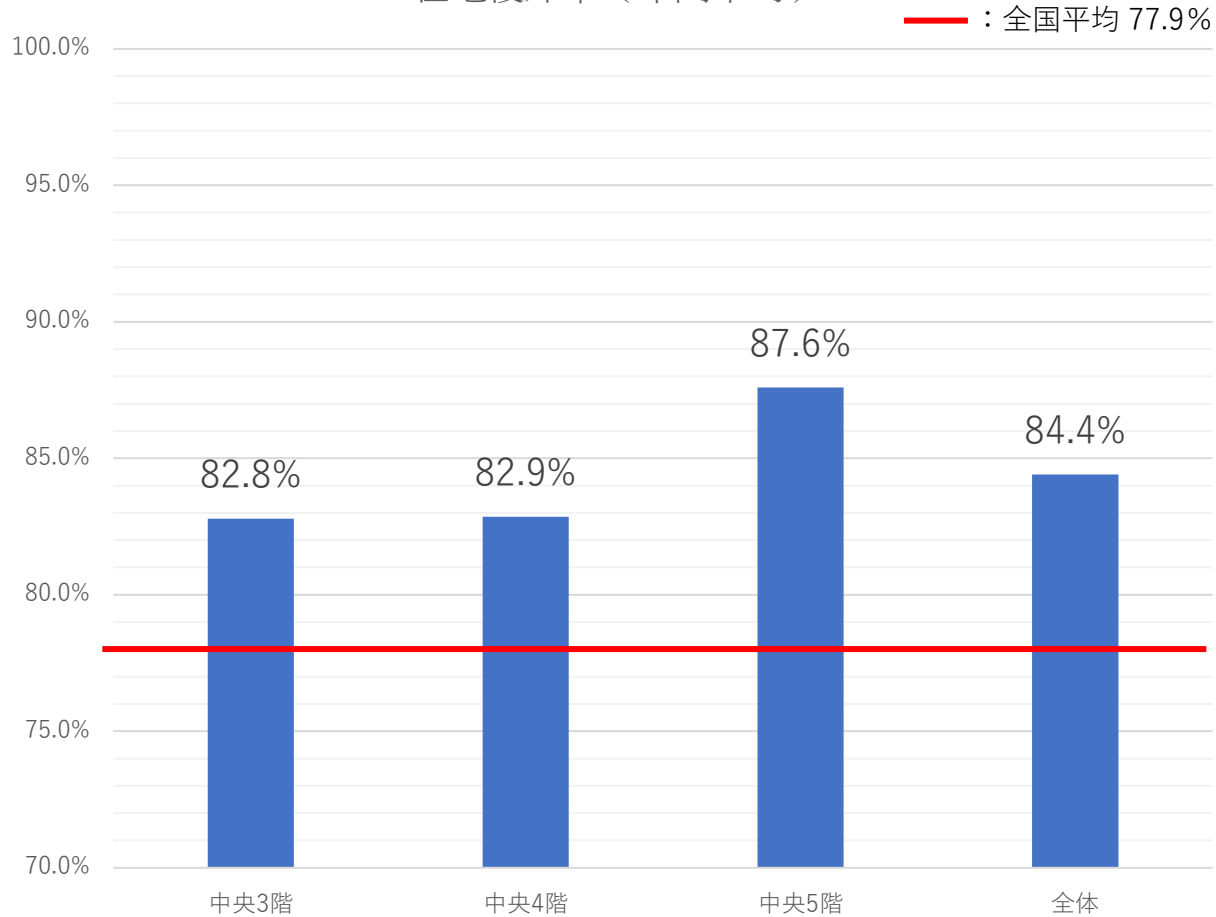
年間平均
 中央3階：68%
 中央4階：62%
 中央5階：67%
 全体：66%



※重症者の改善割合

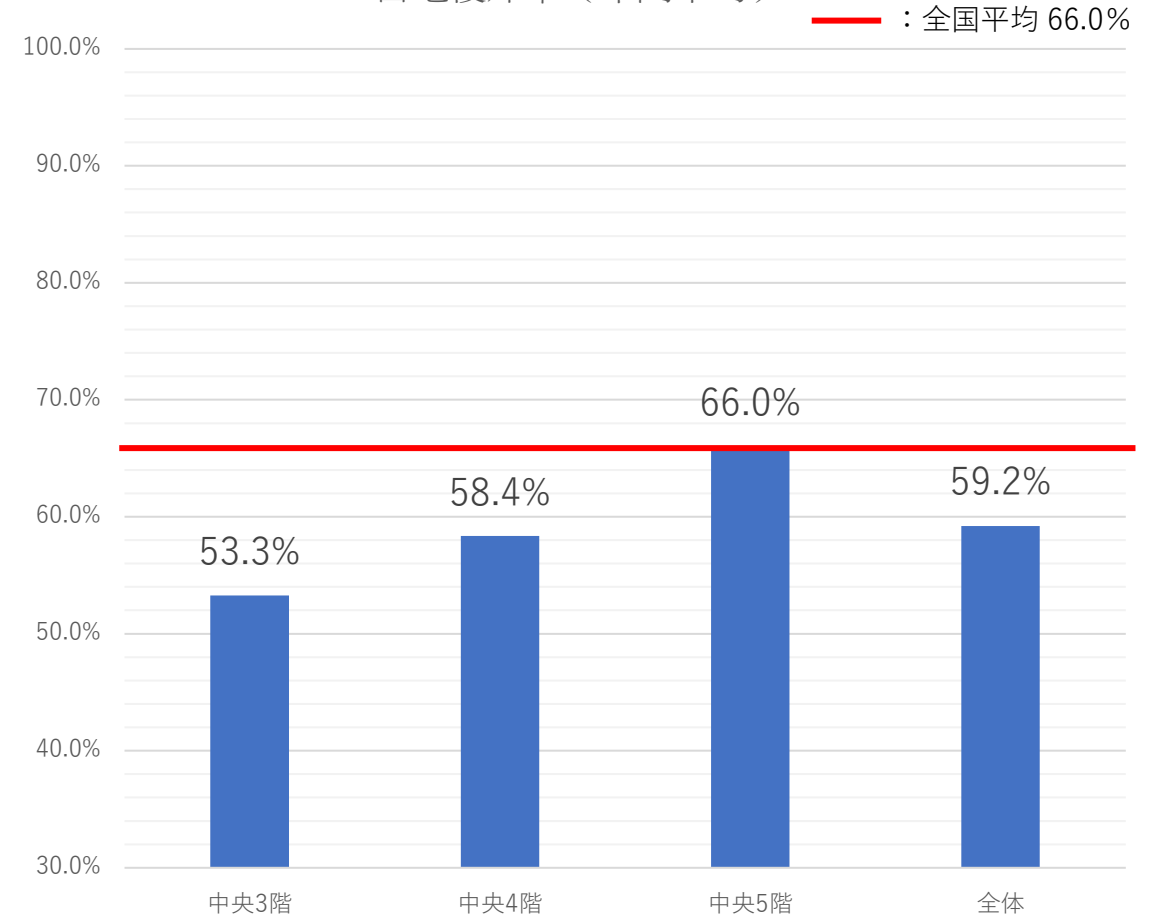
回復期入院料Ⅰでは入院時に重症であった患者における退院時の日常生活機能評価で3割以上の患者が4点以上（FIMなら16点以上）改善している必要がある

在宅復帰率（年間平均）



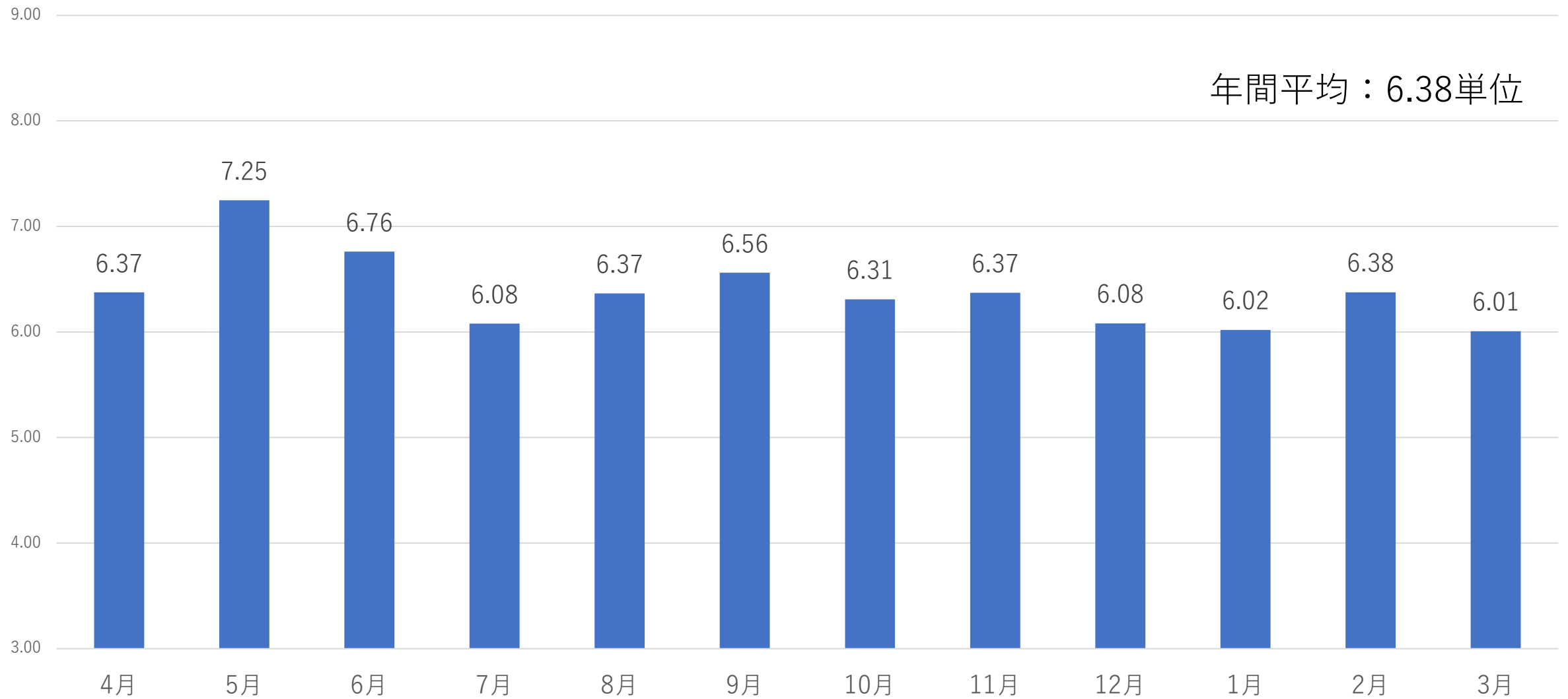
※「在宅復帰」とは、自宅はもちろんのこと居住系介護施設（グループホームや有料老人ホームなど）に退院したことを指します。回復期リハビリテーション病棟の入院料1では、在宅復帰率は70%以上と定められています。

自宅復帰率（年間平均）



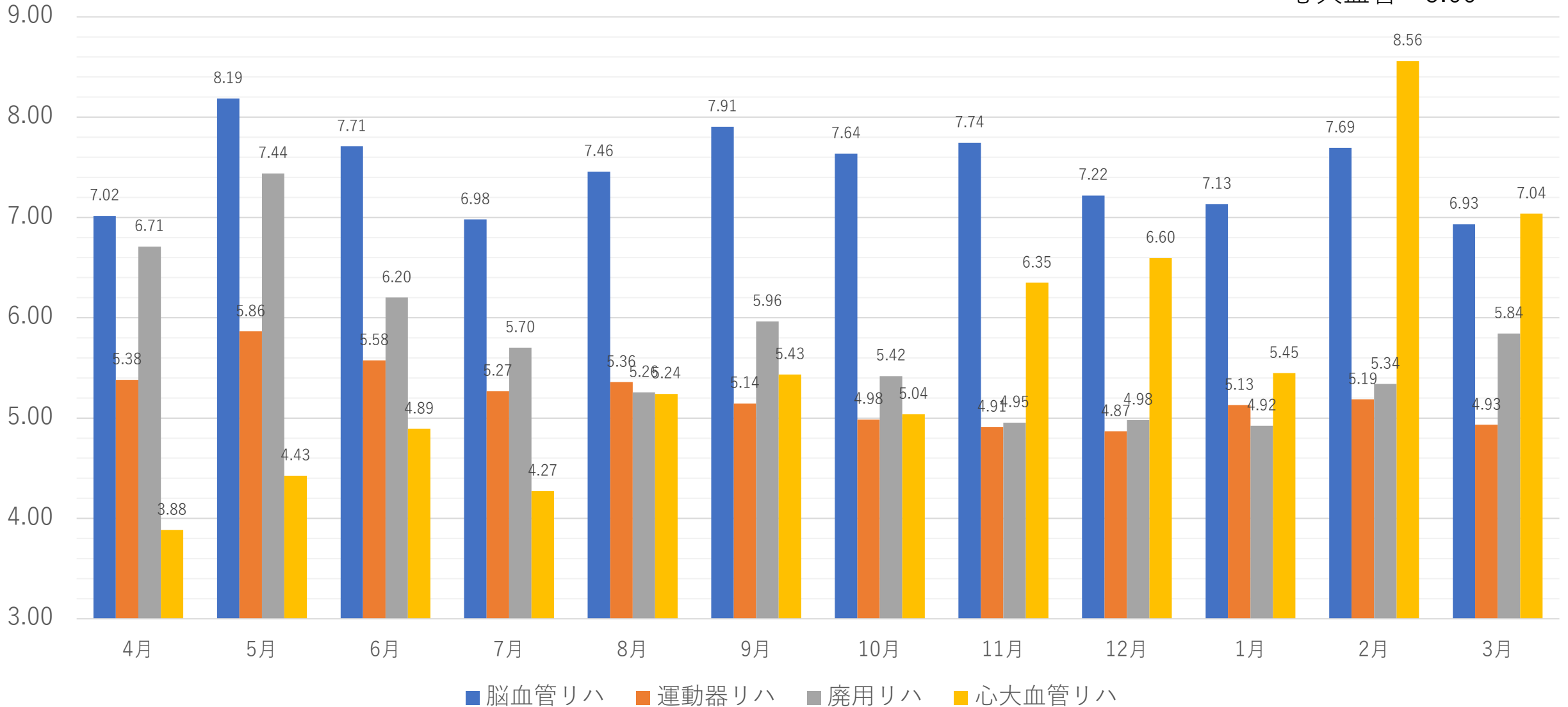
※「自宅復帰」とは、ここではご自身の「自宅」または「ご家族の家」に帰られた方を指しています。

リハビリ提供単位

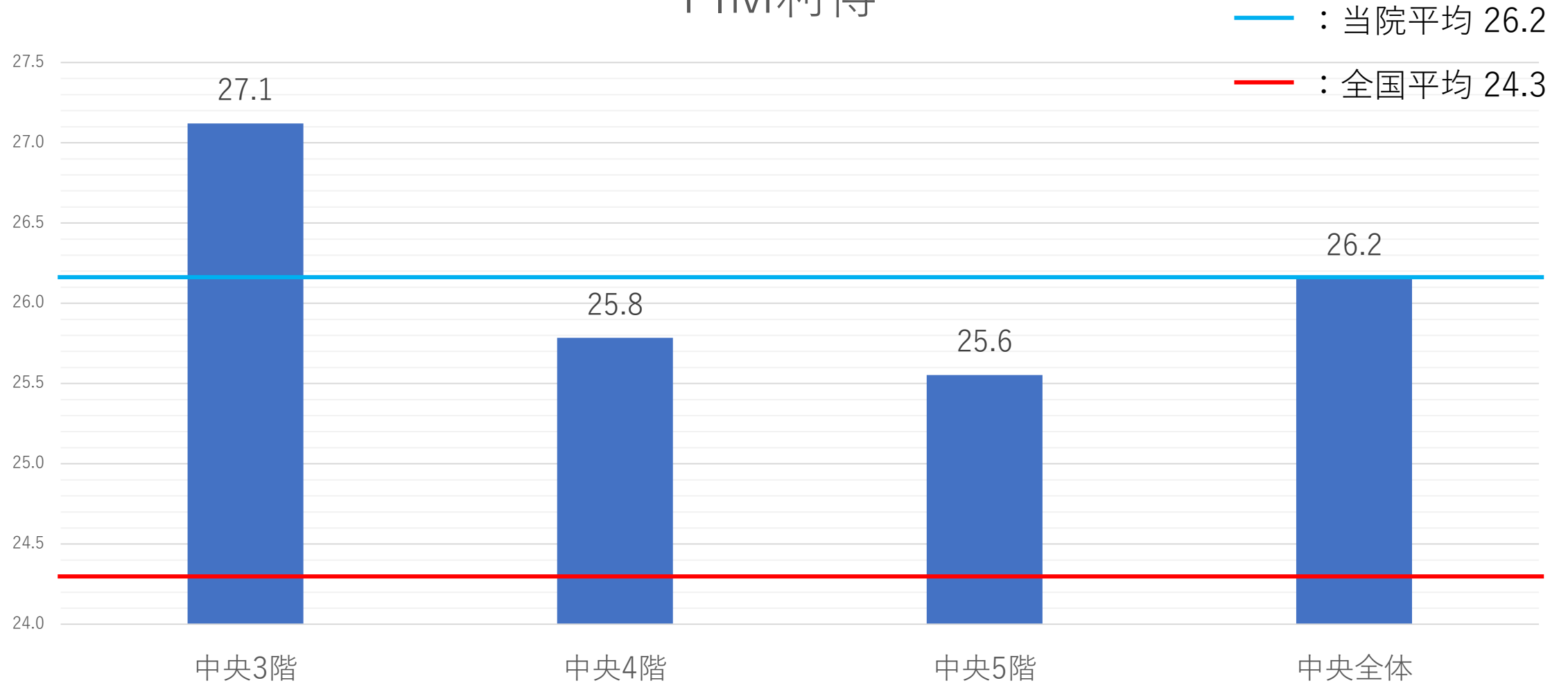


疾患別リハビリ提供単位

疾患ごとの年間平均
脳血管：7.47
運動器：5.22
廃用：5.73
心大血管：5.60



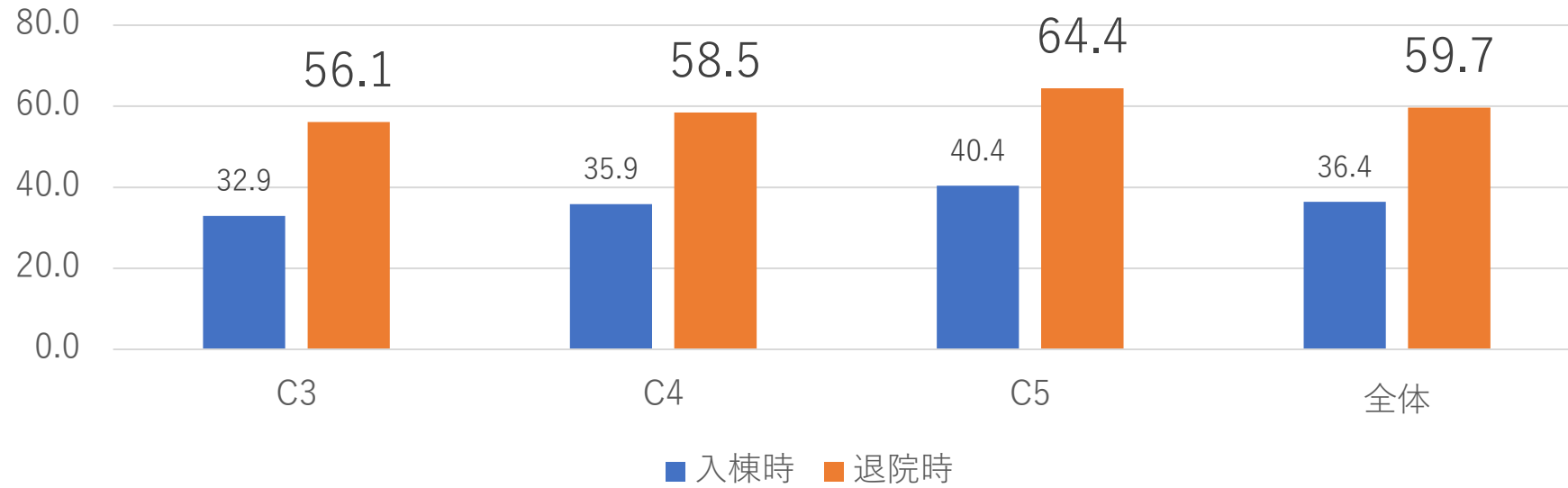
FIM利得



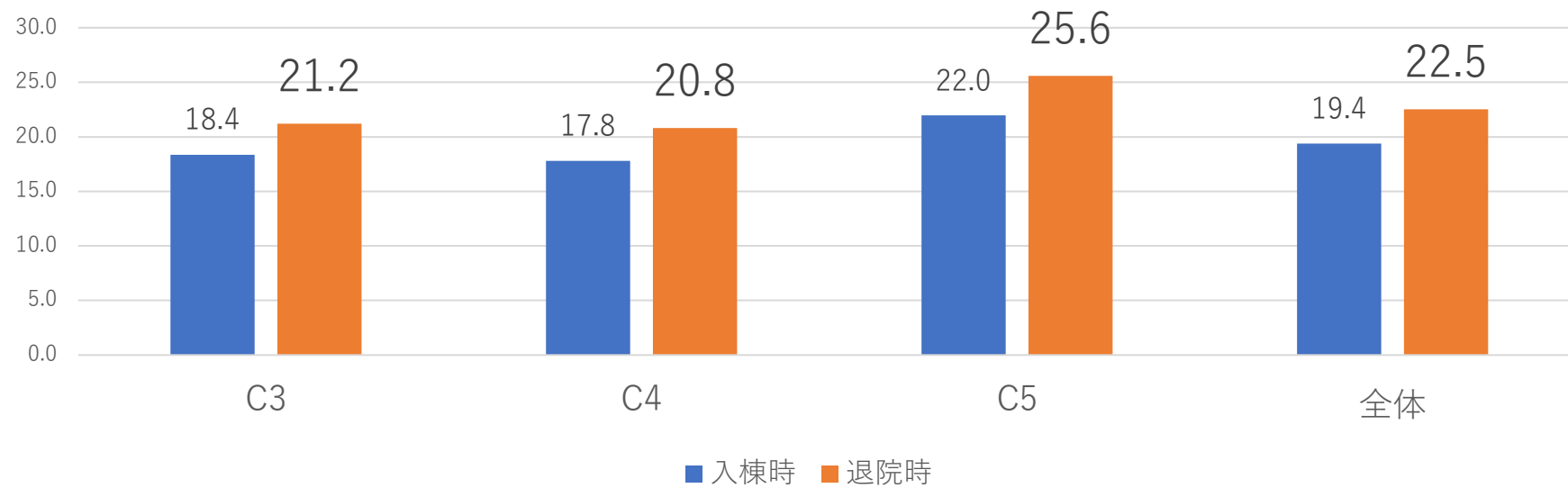
※FIM利得

FIM利得とは、入院時と退院時のFIMの差を表す指標であり、この値が高いほど入院中に日常生活動作能力が向上したと言えます。

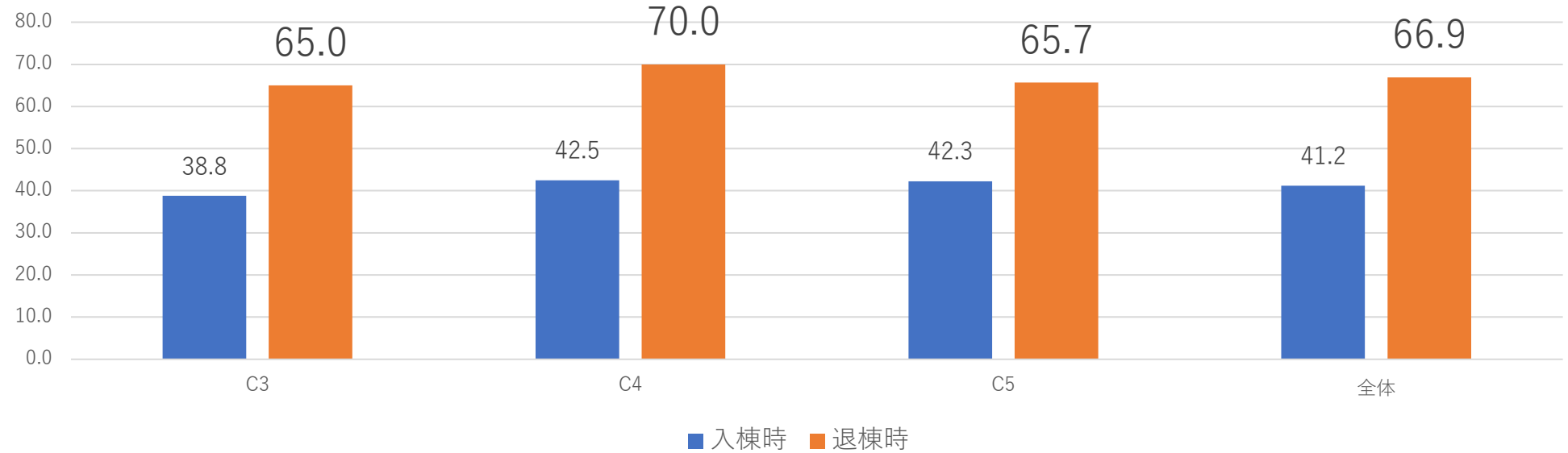
FIM運動項目（脳血管疾患）



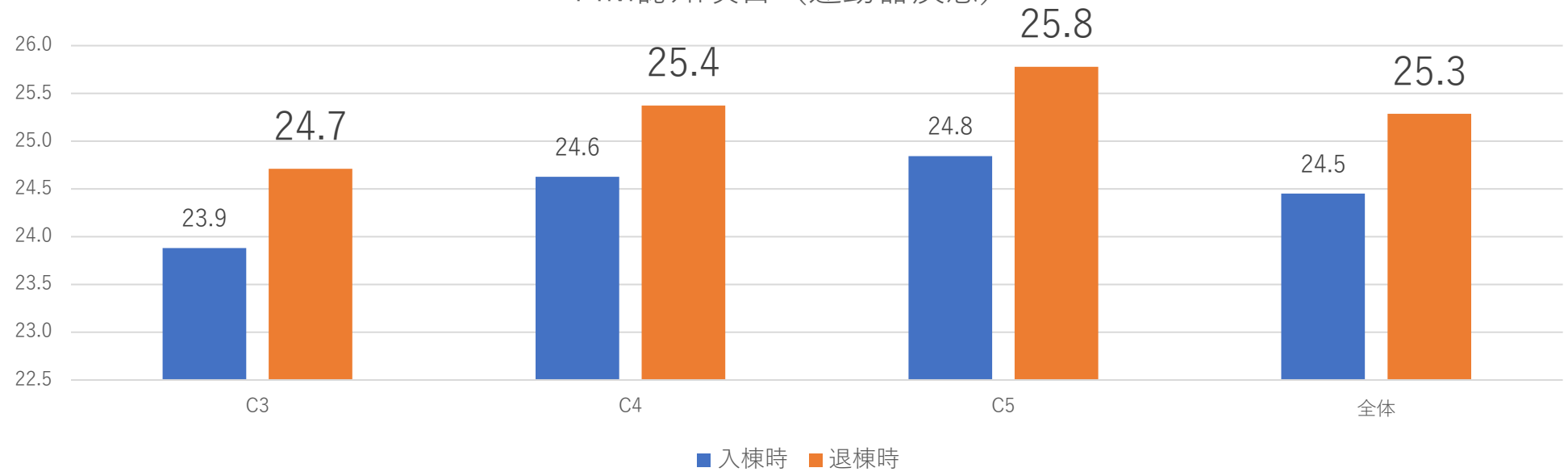
FIM認知項目（脳血管疾患）



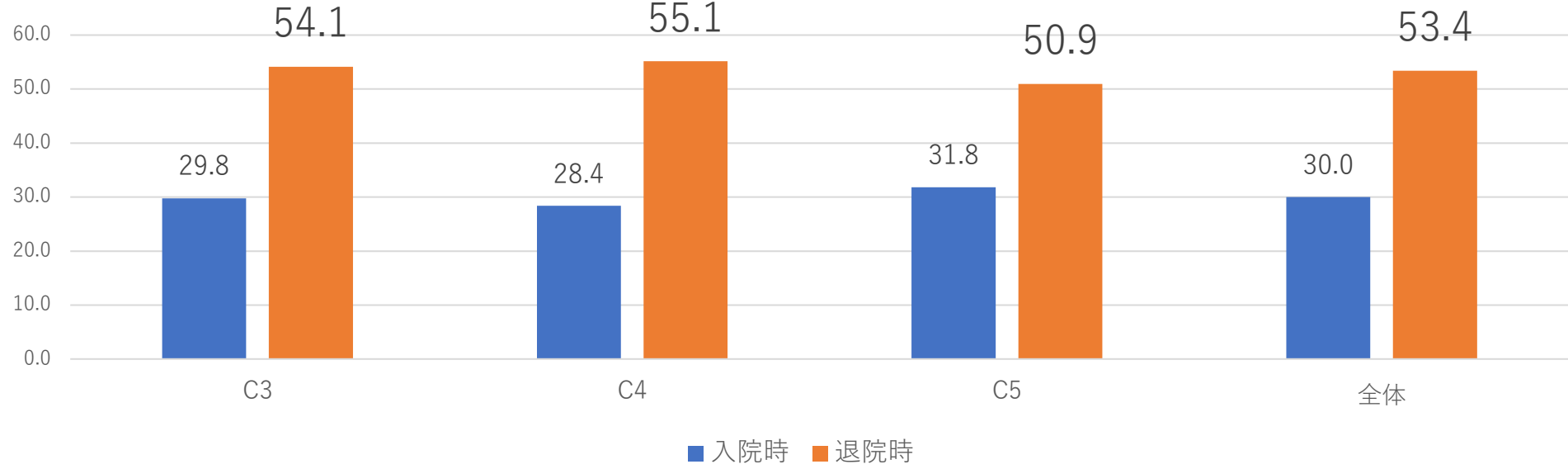
FIM運動項目（運動器疾患）



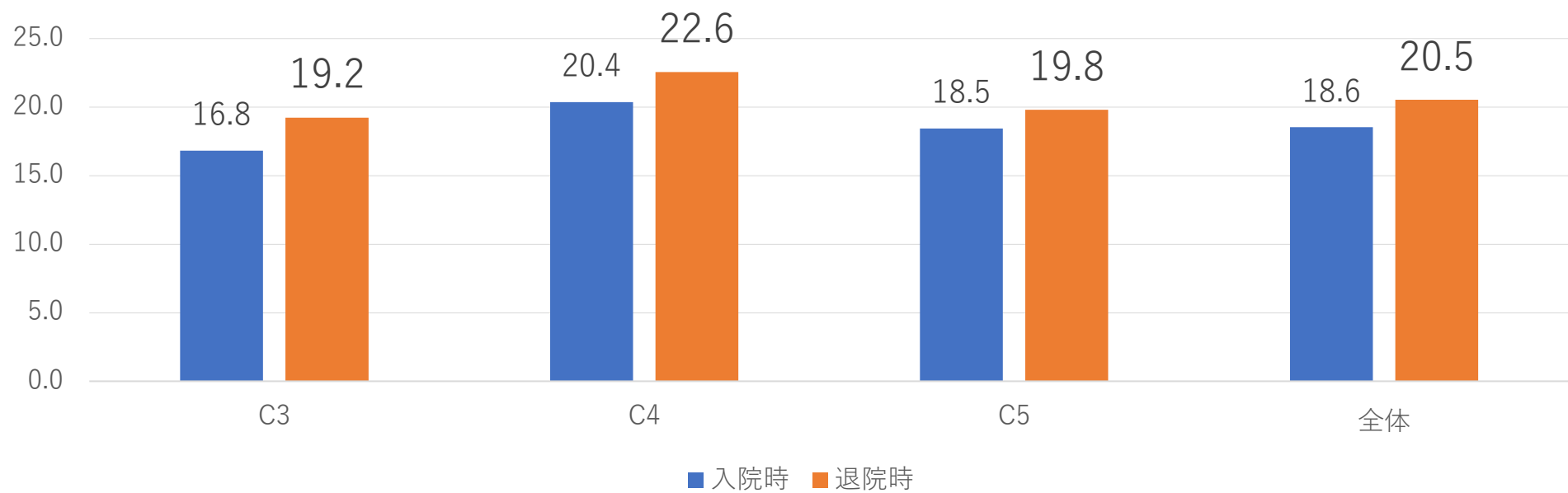
FIM認知項目（運動器疾患）



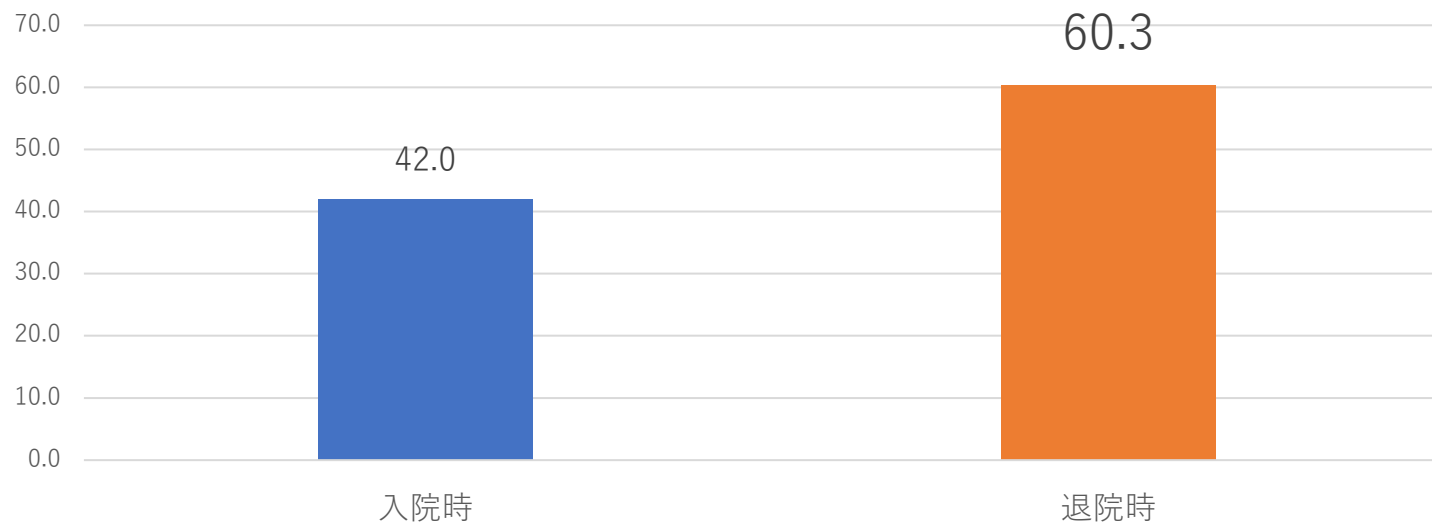
FIM運動項目（廃用症候群）



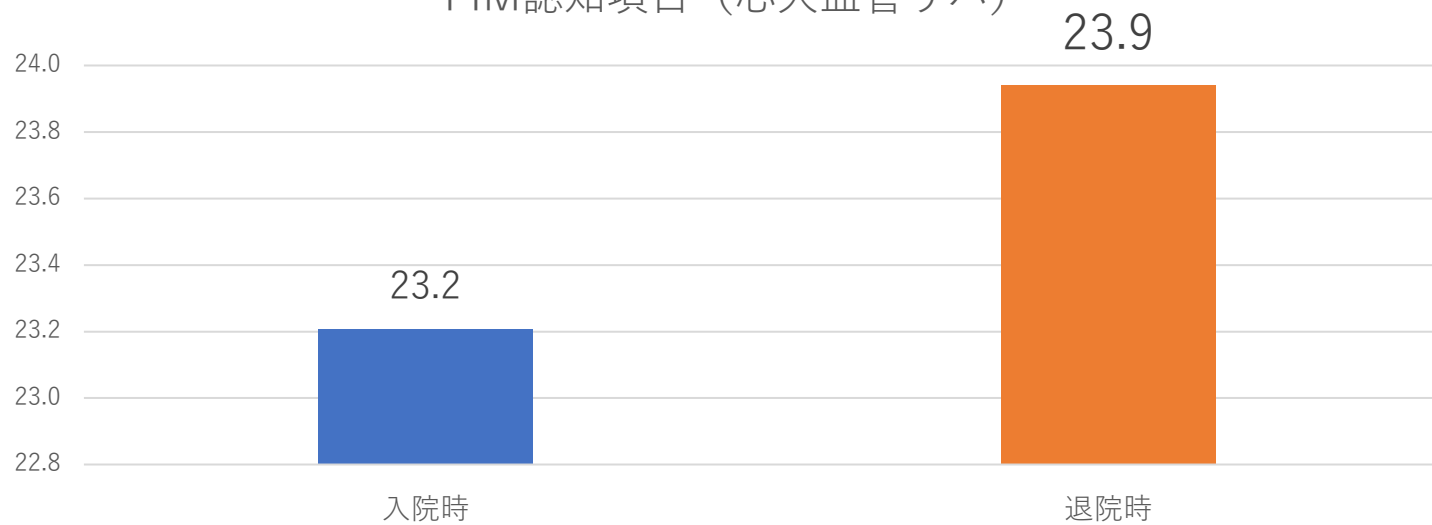
FIM認知項目（廃用症候群）



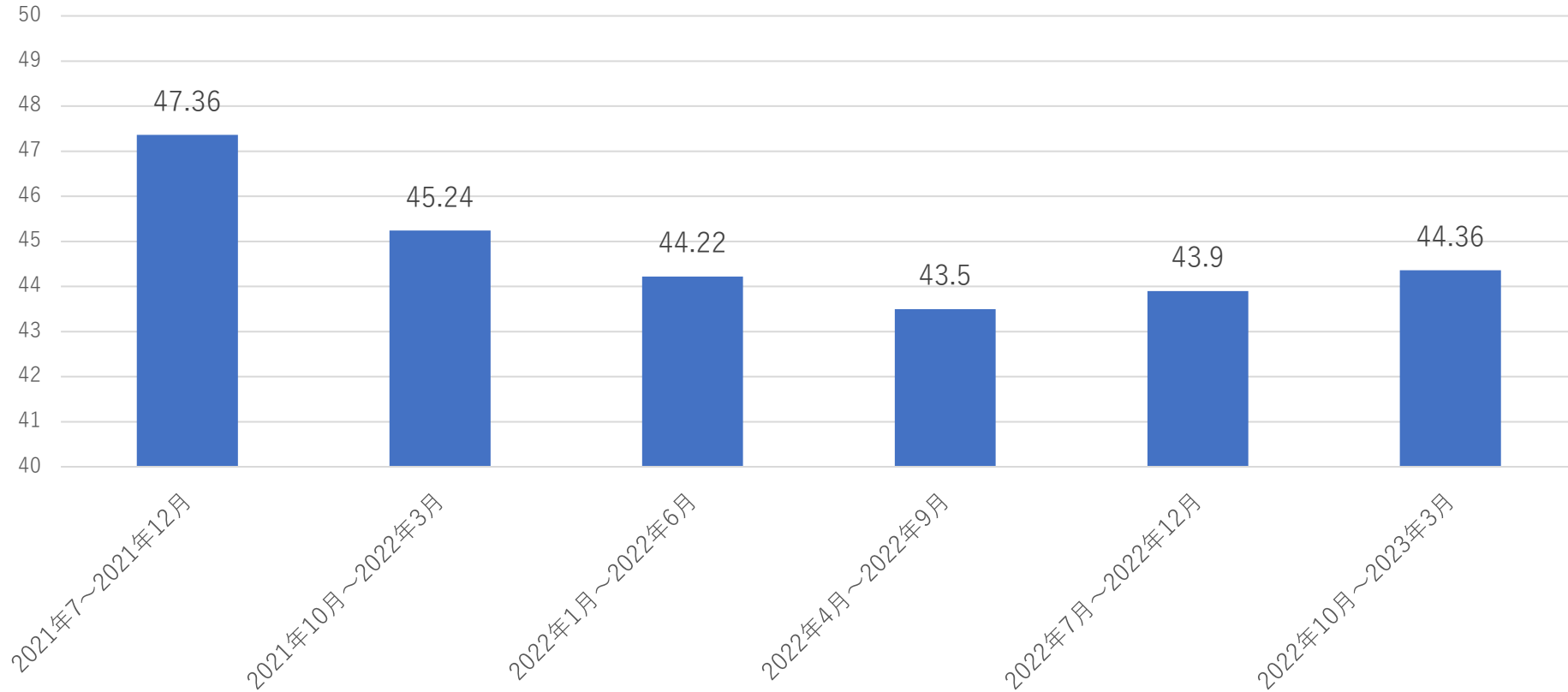
FIM運動項目（心大血管リハ）



FIM認知項目（心大血管リハ）



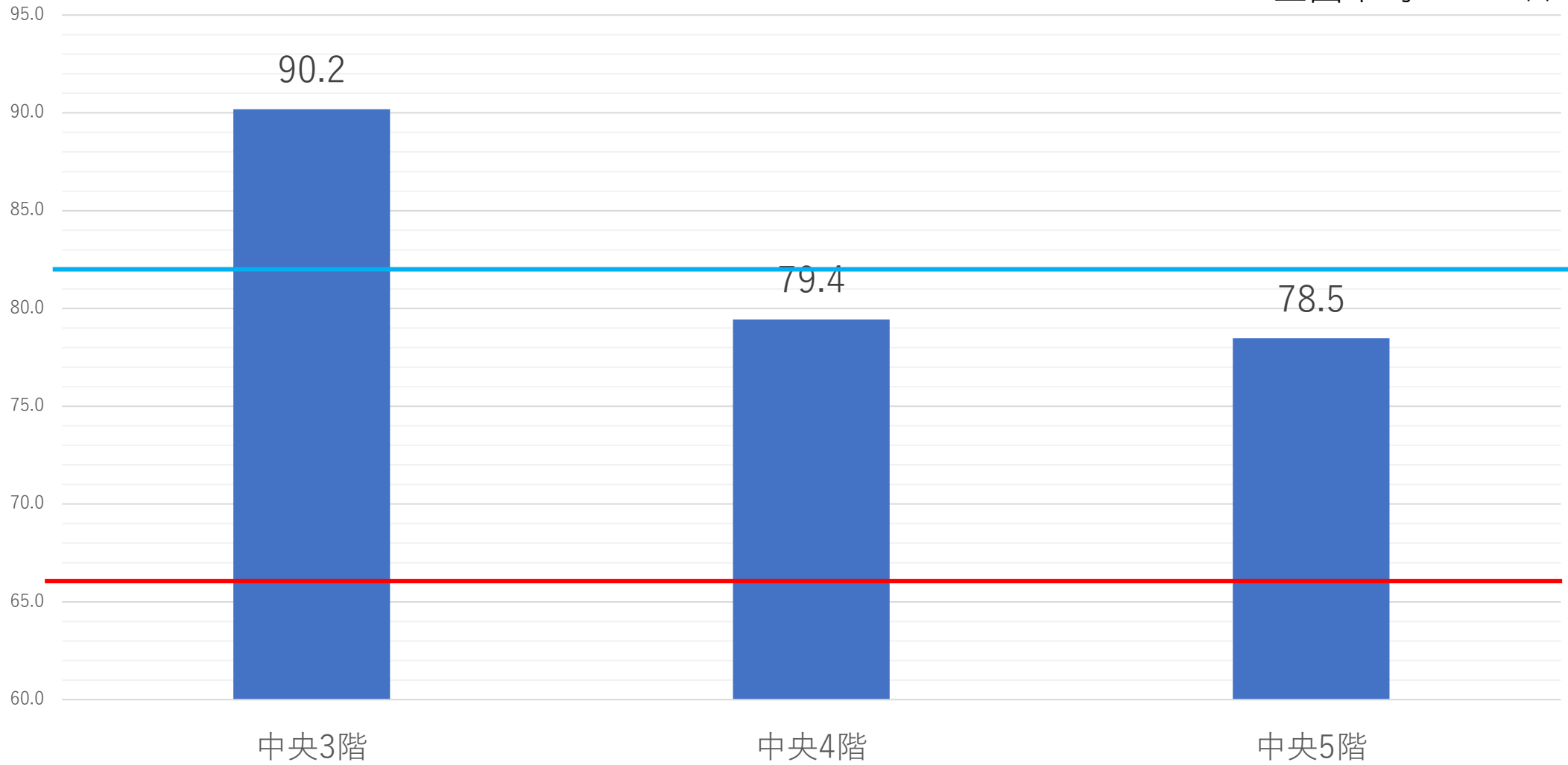
実績指数



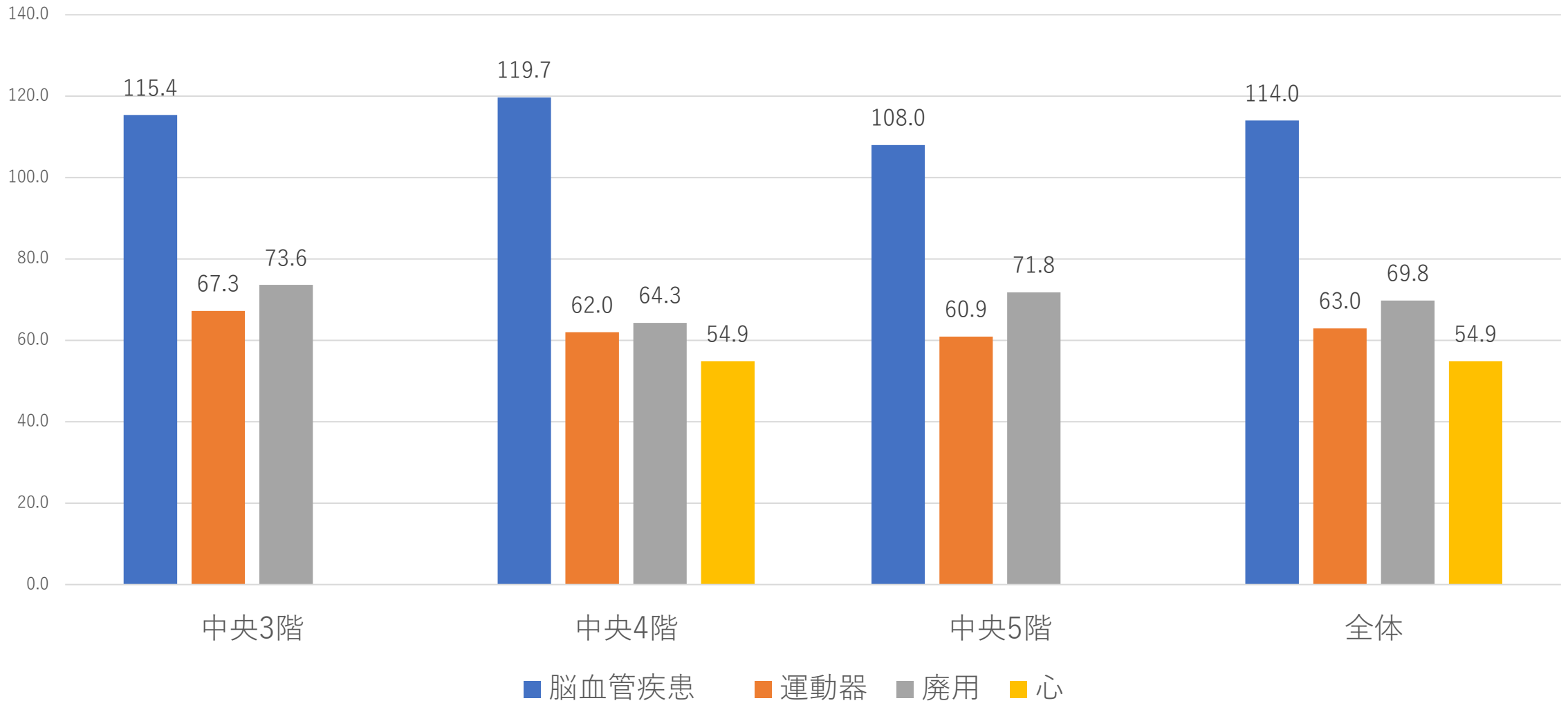
※退院時のFIM運動項目の利得を退院までの回復期在棟日数／疾患別の回復期算定上限日数で除したものです。
実績指数は、短期間で日常生活が自立し退院することができれば値は高くなります。
回復期リハ病棟入院料1では40点以上が要件となっています。

平均在棟期間

— : 当院平均 : 82.3日
— : 全国平均 : 66.2日

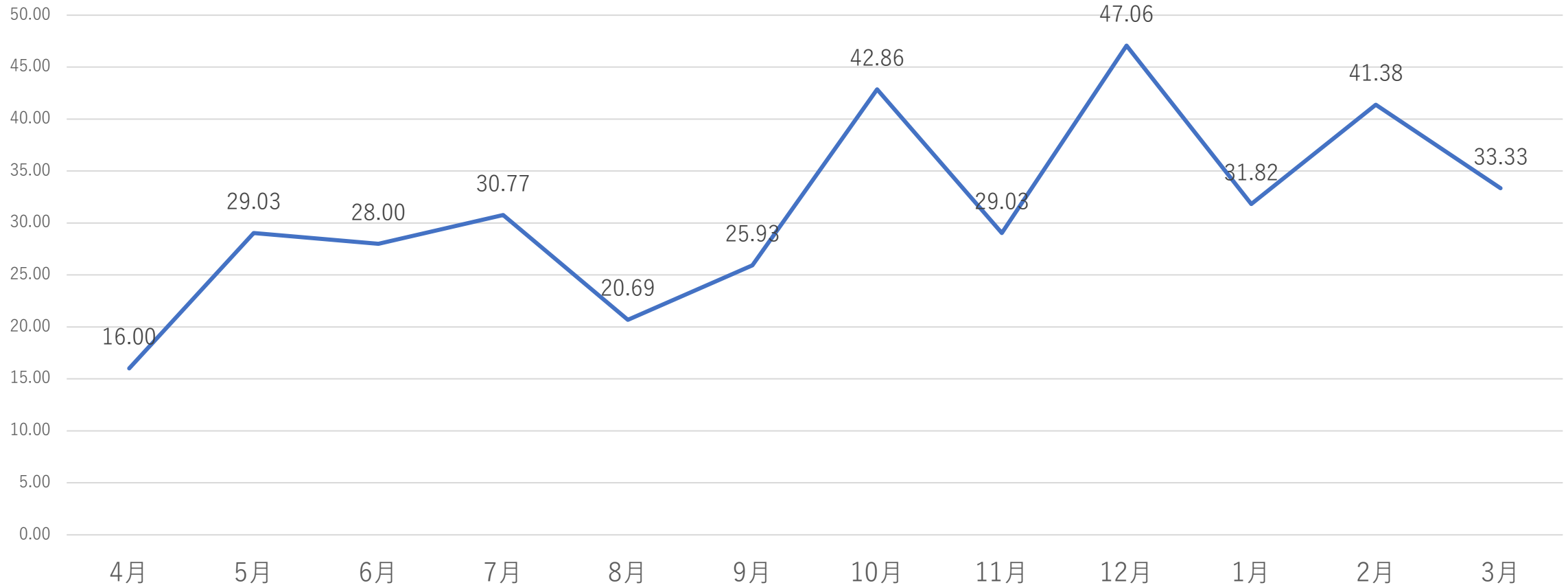


疾患別平均在棟期間（日）



自宅退院患者における 当院の地域リハサービス移行率

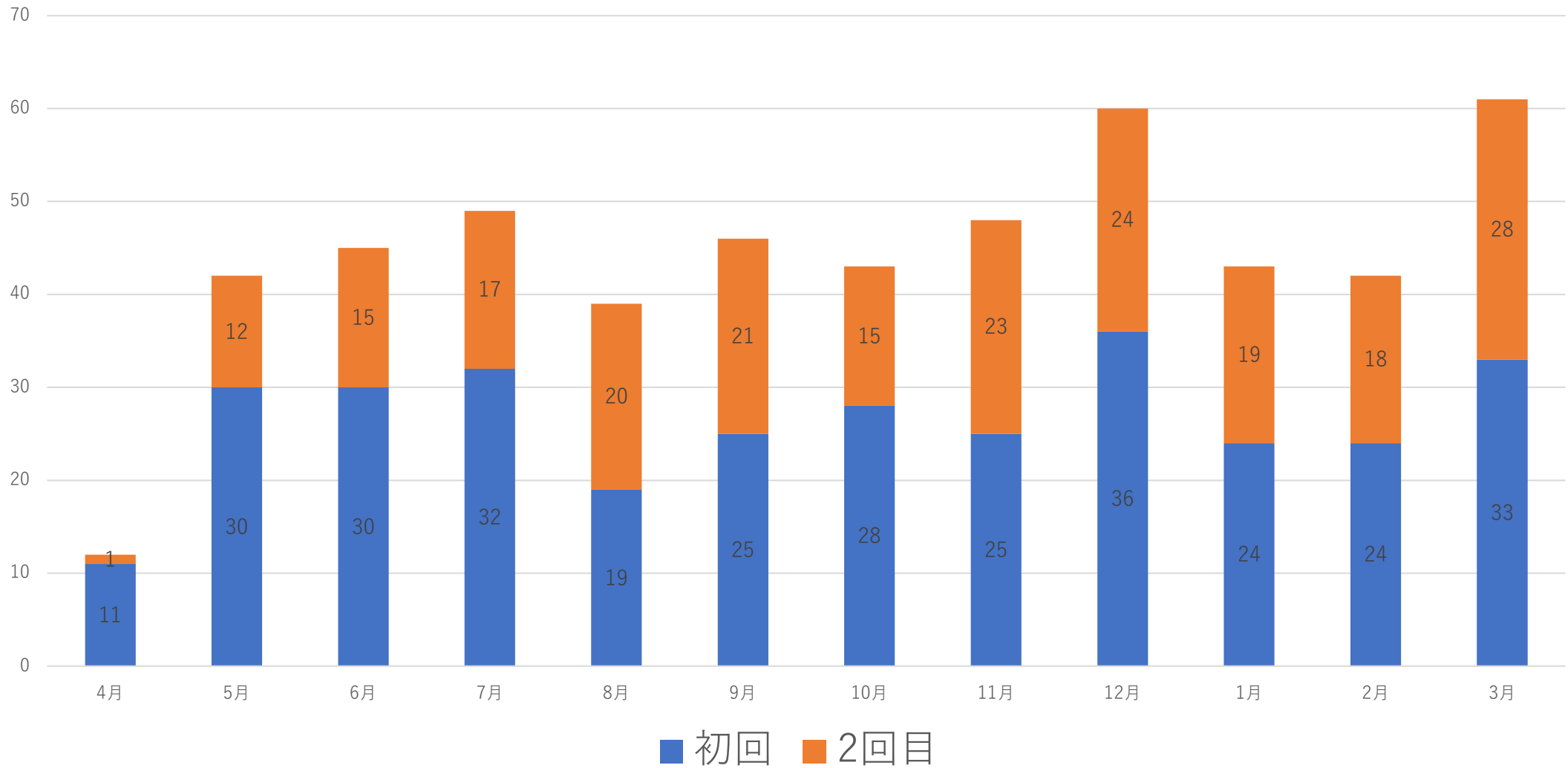
年間平均31.72%



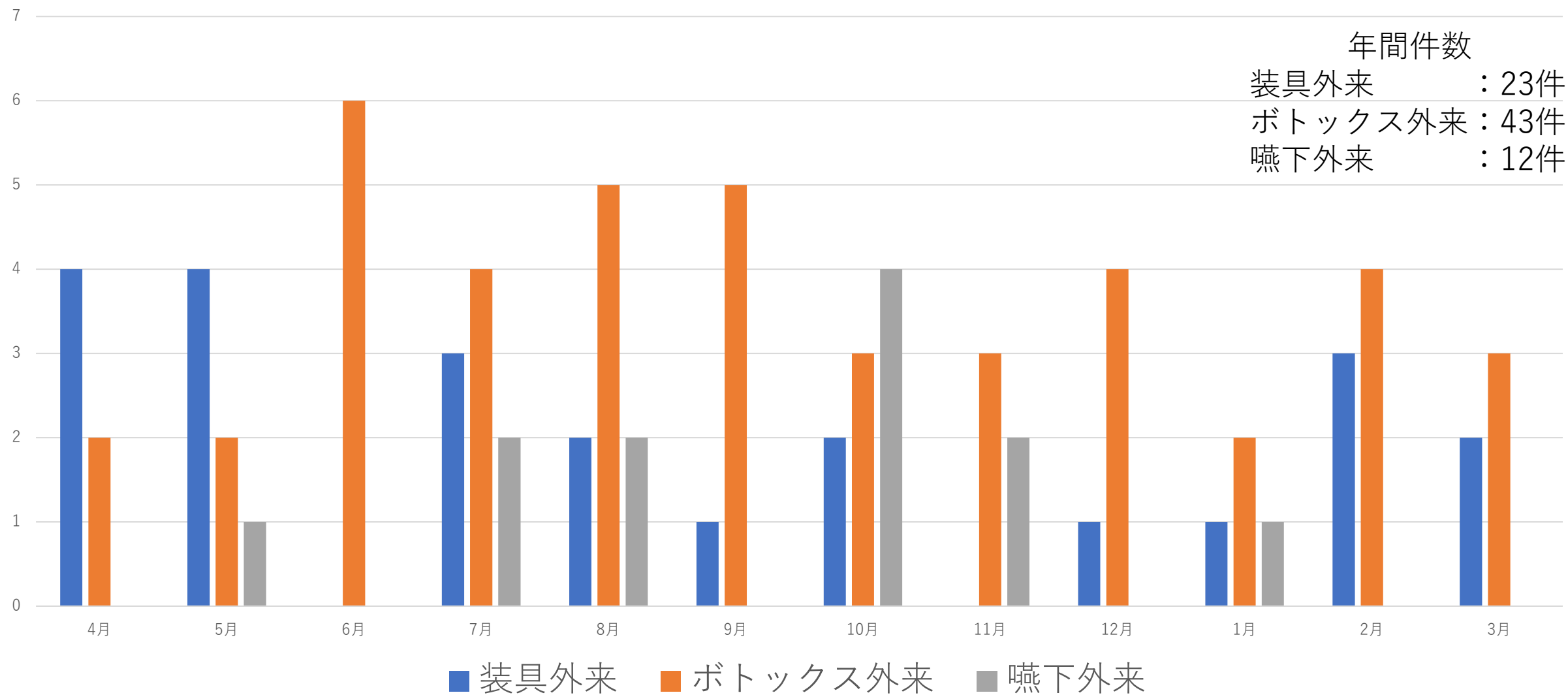
※当院の回復期リハ病棟から自宅に退院された患者さんで、
当院の訪問リハ・通所リハ・外来リハ・老健のデイサービスへ移行された患者さんの割合

栄養指導件数

年間合計：567件



リハ専門外来件数



回復期病棟での転倒・転落件数

年間合計
中央3階：53件
中央4階：29件
中央5階：32件

